



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会
□ <http://www.hokoren.com>

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98
□ E-Mail : information@hokoren.com

□ TEL 028(677)5033
□ 編集責任者 渡辺 信夫

■ 立地企業景気動向調査の結果

芳賀町工業団地連絡協議会会員企業 82 社を対象に、景況調査を実施しました。結果を2月8日（木）に開催した栃木県知事との意見交換会において、当工業団地立地企業の業況や県に対する要望を説明する際の参考にしました。

調査には 53 社（回答率 64.6%）から回答をいただきました。その集計結果は以下のとおりです。

◆質問1 今期状況と来期の見通し

(1) 今期（令和5年10～12月）は

- ① 前年同期と比較して「好転」は 36%（19 社）で前年度比 14.9 ポイント増、「不変」は 43%（23 社）で前年度比 7.8 ポイント減、「悪化」は 21%（11 社）で前年度比 7.1 ポイント減でした。
- ② 今年前期（7～9月）との比較でも「好転」は 28%（15 社）で前期比 12.0 ポイント増、「不変」は 47%（25 社）で前期比 8.6 ポイント減、「悪化」は 25%（13 社）で前期比 3.4 ポイント減でした。

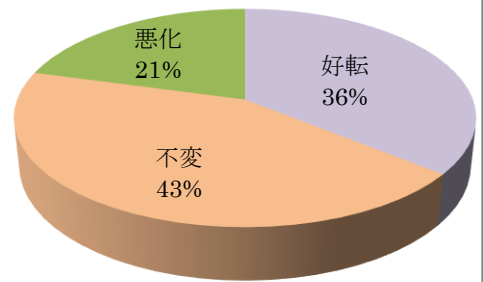
(2) 来期（令和6年1～3月）の見通しは

- ① 前年同期と比較して「不変」は 70%（37 社）で今期比 14.0 ポイント増、「好転」は 23%（12 社）で今期比 6.3 ポイント増、「悪化」は 7%（4 社）で今期比 20.4 ポイント減でした。
- ② 今期（10～12月）との比較では「好転」は 25%（13 社）で今期比 8.2 ポイント増、「不変」は 62%（33 社）で今期比 0.5 ポイント減、「悪化」は 13%（7 社）で今期比 7.7 ポイント減でした。

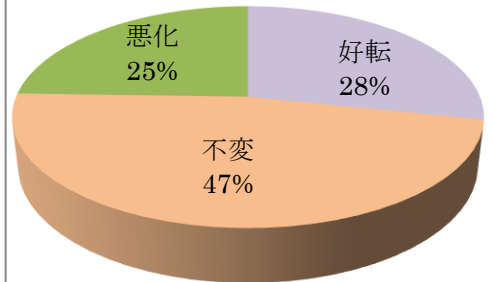
このように、今期は前年同期および前期と比べて「好転」が増加し、「不変」「悪化」が減少しているものの、「不変」の割合が高いことから、景気の好転は一部のみで、経済環境は厳しい状況であることが分かりました。

また、来期も「不変」と見る企業の割合が高く、株高にはなっていますが、円安の影響で原材料価格の上昇により先行きに慎重な見方をしている状況がうかがえます。

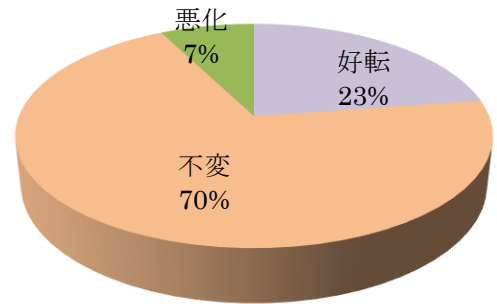
(1)-① 今期（前年同期に比べて）



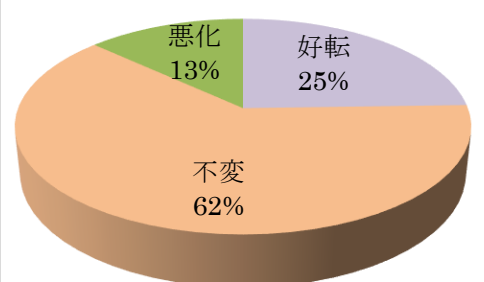
(1)-② 今期（前期に比べて）



(2)-① 来期（前年同期に比べて）



(2)-② 来期（今期に比べて）



◆質問2 設備投資内容は

(1) 今期の設備投資状況は「実施した」が39.6% (21社)で、前年度比9.2ポイントの減でした。内容は複数回答で、①付帯設備29.6%、②OA機器22.2%、③車両・運搬具14.8%が上位でした。「実施なし」は60.4% (32社)でした。

① 実施した21社 ※ %は複数回答27の割合 (前年度比ポイント)

1	土地	1社	3.7%	(+3.7)
2	建物	2社	7.4%	(+2.1)
3	建設機械	2社	7.4%	(+2.1)
4	車両・運搬具	4社	14.8%	(-6.3)
5	付帯設備	8社	29.6%	(-9.9)
6	OA機器	6社	22.2%	(+9.0)
7	福利厚生施設	1社	3.7%	(-1.6)
8	その他	3社	11.1%	(+0.6)

② 実施していない。

実施なし	32社	60.4%	(+9.2)
------	-----	-------	--------

(2) 来期の設備投資計画は「計画あり」が45.3% (24社)で、前年度比5.9ポイントの減でした。内容は複数回答で、①付帯設備27.3%、②建物18.2%、③車両・運搬具18.2%が上位でした。「計画なし」は54.7% (29社)でした。

① 計画している24社 ※ %は複数回答33の割合 (前年度比ポイント)

1	土地	0社	0%	(-4.9)
2	建物	6社	18.2%	(+8.4)
3	建設機械	2社	6.1%	(-1.2)
4	車両・運搬具	6社	18.2%	(+1.1)
5	付帯設備	9社	27.3%	(+0.5)
6	OA機器	4社	12.1%	(-2.5)
7	福利厚生施設	1社	3.0%	(-6.8)
8	その他	5社	15.2%	(+5.4)

② 計画していない。

計画なし	29社	54.7%	(+5.9)
------	-----	-------	--------

設備投資については、「実施なし」の回答が今期60.4% (32社)、来期54.7% (29社)で、過半数の企業が積極的な設備投資を見送っているようです。

なお、設備投資を「実施した」あるいは「計画あり」とする企業においても、その内容は「付帯設備」「車両・運搬具」「OA機器」などが主な中、6社が「建物」を計画しており僅かですが本格的な設備投資の兆しがみえます。

◆質問3 今期直面している経営上の問題点は

順位	経営上の問題点 (18項目から選択)	選択企業数	1位選択数	2位選択数	3位選択数	(前年順位)
1	⑭ 従業員の確保難	37	26	7	4	(1)
2	⑥ 原材料価格の上昇	23	9	8	6	(2)
3	⑧ 人件費の増加	14	3	8	3	(5)
4	⑮ 熟練技術者の確保難	13	2	6	5	(6)

従業員の確保は調査開始 (平成28年) 以来、継続して一番の課題となっています。また、円安や国際情勢の不安から原油価格の高止まり、原材料価格の上昇が経営上の問題点となっています。さらには賃上げの流れの中、人件費の増加も問題点となっています。

◆質問4 栃木県に対する要望懸案事項

ビジネスマッチングの充実、中小企業に対する援助などの要望がありました。

◆質問5 カーボンニュートラルの取組み

栃木県工業団地管理連絡協議会（団管連）の統一調査項目として、今回始めて実施しました。

回答のあった53社の内、実施は34社（64.1%）、実施予定が8社（15.1%）で、80%弱の企業がカーボンニュートラルに関心を持っています。

(1) 実施：34社（64.1%） （複数回答）

順位	取組事例（上位4項目）	回答企業数
1	照明設備をLED化	26
2	太陽光パネル設置	9
2	社用車をハイブリッド車・EV車	9
4	再生可能エネルギーの導入	5

(2) 実施予定：8社（15.1%）

順位	取組事例	回答企業数
1	社用車をEV車	3
2	照明設備をLED化	2
2	太陽光パネル設置	2
4	酸化鉄の発熱反応を利用した製造製品の乾燥	1

(3) 未実施：11社（20.8%）

■ 県知事との意見交換会

栃木県工業団地管理連絡協議会（山田敏明理事長）主催の「知事との意見交換会」が2月8日(木)午後、ホテルニューイタヤで開催されました。県内8工業団地代表者と福田富一県知事はじめ石井陽子産業労働観光部長、鱒淵繁喜次長、過足裕子産業政策課企業立地班長、青木和之係長などが一堂に会し、県の施策や各工業団地の状況などについて意見交換しました。

芳工連からは浦野誠会長、多部田学副会長、事務局渡辺が出席しました。



<意見交換会会場>

◆福田知事の卓話概要

2024年度の県当初予算が当日午前中に発表されたことから“未来志向で「世界から選ばれるとちぎ」を目指して”と題して、予算の特徴について説明がありました。

■重点4項目

1 とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの推進

少子化は待ったなしの先送りできない課題、実現可能なものは全て行います（縁結びムーブメント事業、第2子保育料免除事業、とちぎ男性育児休応援事業など）。

2 G7大臣会合を契機とした女性活躍の推進

機運の高まりを維持しながら、課題解決に向けた施策を展開し、女性活躍推進を加速していき



<福田知事挨拶>

ます（G7レガシー推進事業、女性等に魅力ある雇用・産業創出事業など）。

3 積極的なグローバル展開による地域経済の活性化

持続的発展につなげていくための取組をしていきます（とちぎ経済交流促進事業、経済安全保障対応関連事業、とちぎインバウンド強化対策事業など）。

4 DX・カーボンニュートラルの実現に向けた取組の加速

安心して快適に住み続けることができる社会の形成に向けて、デジタル技術の活用や人材育成に積極的に取り組むとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて脱炭素化の取組を進めます（次期防災情報システム整備事業、とちぎDX体制強化事業、カーボンニュートラル推進事業、非住宅建築物ウッドチェンジ事業など）。

◆意見交換

各工業団地から「雇用の確保」「原材料価格の高騰」などの課題が挙げられました。

浦野会長から「昨年この場でビジネスマッチングの話をしていただきましたが、具現化にはいたっておりません。宇都宮工業団地と話を始めようとしているところです。現在、弊社ではコミュニケーションツールを使っての情報のやり取りをしており、このような汎用ツールアプリを活用し廉価なプラットフォームにて迅速にマッチング機能を具現化してはどうかと考えています。また、このコミュニケーションツールは大災害発生時など緊急時の情報収集にも有効と考えます。県が中心となりプラットフォーム作りなど進めていただければありがたいです」と提案がありました。

結びで知事は「ビジネスマッチングについては、県も一緒に入って、どういう仕組みを作ったら良いか検討させてほしい」と述べられました。



<浦野会長説明>

■ 第44回 ボウリング大会を開催

2月15日(木)8社28名の参加のもと、インターパークプラスワンで開催されました。ストライクやスペアのたびに歓声が沸き、ガターでの悲鳴が響き、和やかな雰囲気の中で親睦が図られました。4人の平均スコアの2ゲームトータルで競い、優勝は日立Astemo(株)の加藤、荒谷、伊藤、向後チームでした。準優勝は日本梱包運輸倉庫(株)の大野、加藤、酒主、高神チームでした。メンバーが変わっても前回に続いての優勝、準優勝です。3位はSBSロジコム(株)・本田技研工業(株)・(株)本田技術研究所・事務局混合の小池、大里、種子、有坂チームでした。また、ハイスコアは男性が伊藤さん、女性が荒谷さんで優勝チームの方でした。賞品提供は(株)ホンダテクノフォート、(株)協永堂印刷、日本梱包運輸倉庫(株)の皆様で、誠にありがとうございました。

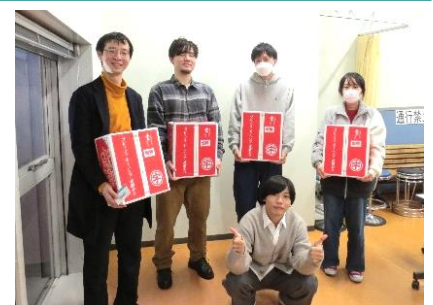
<芳工連日誌>

【2月の実績】

- 8日 知事との意見交換会
- 15日 ボウリング大会
- 21日 臨時役員会
- 28日 資源ごみ回収

【3月の予定】

- 1~2日 会員企業他事業所訪問
- 5日 第3回安全衛生部会
- 6日 第3回環境整備部会
- 12日 第3回交通防犯部会
- 13日 第3回総務企画部会
- 19日 第2回女性活躍推進会議
- 21日 第4回役員会
- 27日 資源ごみ回収
- 28日 町交通安全対策連絡協議会



<優勝：日立Astemo(株)チーム>